

整形外科

【スタッフ（専門、認定）】

飯田 圭一郎 部長 兼 脊椎・脊髄病センター長、リウマチ・関節センター長
（脊椎脊髄疾患、日本整形外科学会整形外科専門医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、がん治療認定医）

原田 岳 医長（股・膝関節疾患）

渡邊 哲也 医長（脊椎脊髄疾患・足の外科、日本整形外科学会整形外科専門医）

太田 浩二 医長（肩・膝関節疾患、日本整形外科学会整形外科専門医）

金海 光祐 医師、杉田 敏明 医師、衛藤 凱 医師、矢野 裕大 医師、河野 敦 医師

【非常勤】

白澤 建藏 医師（認定等：日本整形外科学会整形外科専門医・脊椎内視鏡下手術技術認定医・脊椎脊髄病医・リウマチ医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、日本リウマチ財団リウマチ登録医）

常勤医 9 名、非常勤医 1 名が勤務しました。

【治療現況】

骨折等の救急外傷、脊椎脊髄疾患、肩・股・膝の関節疾患を主体に治療を行っています。なかでも脊椎脊髄疾患は多岐に渡る実績があります。平成 30 年度からは脊椎の術中ナビゲーションシステムを導入し、手術の安全性が大幅に向上しました。また、関節疾患については人工股関節・膝関節置換術は以前より多くの実績がありましたが、肩関節疾患(腱板修復術や人工肩関節置換術)の症例数も増加してまいりました。

当院では以下の手術の医師要件・施設要件を満たしています。

【圧迫骨折に対する BKP・VBS】

骨粗鬆症になると腰椎の椎体が脆くなり、立った姿勢からの転倒や、思い当たる原因がなくとも椎体の骨折が起こります。この骨強度の低下による骨折を骨粗鬆性椎体骨折（圧迫骨折）といいます。痛みが長引く場合や神経障害が出現した時は手術の適応となります。

骨粗鬆症性椎体骨折に対しては、BKP（経皮的バルーン椎体形成術）という手術があります。これは、X線透視装置を見ながら、背部に開けた小さな穴から先に風船がついた金属の棒を椎体に挿入します。椎体の中で風船を膨らませて潰れた椎体の形を戻し、椎体の中に空洞を作成します。そして、風船をしぼませて抜去し、椎体内の空洞にセメントを詰め込む手術です。セメントに加えて椎体内にステント（金網）を挿入して更に強固に支える手術（VBS：経皮的椎体ステント形成術）も可能で、多くの症例件数があります。

【腰椎椎間板ヘルニアに対するヘルニコア】

腰椎椎間板ヘルニアに対する新しい治療法（ヘルニコア：椎間板内酵素注入療法）を取り入れています。これは、ヘルニアを起こしている椎間板の髄核にコンドリアーゼという

髄核溶解薬を直接注射する治療法です。

髄核には保水成分が豊富にあるため、ヘルニコアを髄核に注射することで、有効成分のコンドリアーゼが髄核内の保水成分を分解し、水分による膨らみを和らげます。結果として神経への圧迫が改善し、痛みや痺れなどの症状が軽減すると考えられています。全身麻酔の必要もなく、手術療法と比較して身体的侵襲が小さいという特徴を有しています。

【XLIF, OLIF（小侵襲腰椎側方椎体固定）】

XLIF, OLIF は日本では平成 25 年から厚生労働省に使用承認され、一部の認定病院で実施されてきました。対象となる疾患は、腰部脊柱管狭窄症のなかでも腰椎変性すべり症、腰椎変性側弯症、腰椎後弯症、腰椎分離（すべり）症の一部などです。従来の手術では腹部に 20cm 程度の大きなキズで腹部の筋肉を切離しながら腹膜に到達する必要がありました。

XLIF, OLIF は側腹部（腸骨と肋骨の間）に約 3cm 程度の皮膚切開を入れ、筋肉を切離、切除せずに椎体の側方から腹膜外アプローチで椎間板を取り除き、ケージといった特殊な挿入物で固定して、脊椎の安定性を高める手術方法です。出血が少なく、術後早期からの歩行、入院期間の短縮が期待できます。

【RSA（リバーズ型人工肩関節置換術）】

修復不可能な広範囲腱板断裂例や腱板断裂性肩関節症といった腱板機能障害を伴う肩関節症例に対して有効な治療法です。腱板機能不全(腕が上がらない)症例に対しても人工肩関節置換術により腕の挙上が可能となるようになりました。

【手術症例数】（令和 5 年）

手術法		手術件数	
脊椎		163	
四肢外傷	大腿骨近位部骨折	179	
	骨折・脱臼	152	
	腱損傷・その他	118	
骨軟部腫瘍	良性	5	
	悪性	0	
上肢・手	人工関節（骨頭）置換術（外傷を除く）	肩	13
		肘	2
		手指	0
	関節鏡視下手術	肩	49
		肘	0
		手	0
	関節形成術（骨切り他）		2
	神経、筋腱		24
	その他		0

下肢	人工関節（骨頭）置換術（外傷を除く）	股	62	
		膝	94	
	関節鏡視下手術	股	1	
		膝	34	
		足	0	
	関節形成術（骨切り他）			11
	神経、筋腱			0
	その他			17
合 計			926	

【業績集】

<学会発表等>

開催年月日	演 題 名	演 者	学 会 名	場 所
2023.6.3-4	環軸椎後方固定(Magerl 法)の偽関節例についての検討 片側固定 vs 両側固定	杉田敏明	第 145 回西日本整形・災害外科学会学会学術集会	福岡市
2023.6.3-4	外傷治療でポリエチレン製ケーブル使用後に発生する骨皮質の変化と影響について	鶴翔平 ¹⁾	第 145 回西日本整形・災害外科学会学会学術集会	福岡市
2023.6.3-4	硬膜管背側に脱出した腰椎椎間板ヘルニアの治療経験	橋詰惇 ²⁾	第 145 回西日本整形・災害外科学会学会学術集会	福岡市
2023.11.3-4	当院における四肢切断術(足趾切断術)の治療成績の検討	河野敦	第 146 回西日本整形・災害外科学会学会学術集会	宜野湾市
2023.11.3-4	70 歳以上の高齢者における広範囲腱板断裂に対する ARCR と ASCR の比較	矢野裕大	第 146 回西日本整形・災害外科学会学会学術集会	宜野湾市
2023.11.3-4	陳旧性肩鎖関節脱臼に対して鏡視下烏口鎖骨靭帯再建術、Cadenat 変法、フックプレート併用手術を施行した 2 例	衛藤凱	第 146 回西日本整形・災害外科学会学会学術集会	宜野湾市
2023.11.3-4	骨粗鬆症性椎体骨折に対する椎体形成術の比較 Vertebral body stenting(VBS) vs Balloon kyphoplasty(BKP)	杉田敏明	第 146 回西日本整形・災害外科学会学会学術集会	宜野湾市

1)・2)・・・令和4年度在籍

<論文>

発表年	表題	著者	雑誌・巻・ページ
2024	外傷治療でポリエチレン製ケープル使用後に発生する骨皮質の変化と影響について	鶴翔平 ¹⁾	整形外科と災害外科 73巻,1号
2024	硬膜管背側に脱出した腰椎椎間板ヘルニアの治療経験	橋詰惇 ²⁾	整形外科と災害外科 73巻,1号
2024	環軸椎後方固定 (Magerl 法) の偽関節例についての検討 ー片側固定 vs 両側固定ー	杉田敏明	整形外科と災害外科 73巻,1号 11

1)・2)…令和4年度在籍